

第1回 総務部会 会議報告

日 時:令和7年2月25日(火)

18時30分～19時15分

場 所:川岸小学校1階 図工室

○次 第

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 部会の役割と会議の進め方について
- 4 意見交換
- 5 閉会

○部会で確認した内容

- ・川岸学園設立準備委員会及び専門部会について
- ・校名、校章・校旗、校歌、式典等の検討、準備スケジュール

○部会で出た意見

【校名の検討】

- ・義務教育学校は年間10校～15校ずつ増えている傾向。初期の頃は「〇〇義務教育学校」と入っている校名が多かったが、圧倒的に多いのは「〇〇学園」。中には、こだわりや願いが入っているものもある。
- ・児童、保護者、地域等による紙ベースでの投票による選定がよいのではないか。グーグルフォームなどの投票も考えられるが、やり方が分からない方もいる。
- ・公募について、事前に候補を出すか、白紙から考えてもらうか、検討が必要
- ・校名の決定は令和7年度中に決める方向で。岡谷田中小学校にならえば、校名変更に伴う条例改正は令和8年12月議会を予定。
- ・地域の声を拾いたいという場合であれば、区長宛に校名選定の依頼を出す方法がある。それぞれの区で各戸配布して集め、その中で候補となる校名を区でいくつ候補を絞るという方法がある。
- ・校名は何年も残るもの。時代負けしないような、いつの時代も色褪せないものにしたい。単純に華やかで今風ということだけで選ばないほうがよい。
- ・昔からの言葉は、必ず理由があって残っているので、かえって新しい言葉だと薄れていってしまうのではないか。昔からある言葉を使ったほうが長持ちする。
- ・全国の色々な学校で、「このような子どもたちを育てたい」という願いがあって校名を決定している。その地域の地名を入れれば良いというよりも、地域や市の中で「目指す子ども像」をもとに校名を決定したほうが良いのでは。全国の各義務教育学校の校名も背景を調べてみて、どのような意図なのかを確認してみたらどうか。

・「学園」と聞くと「つつじが丘学園」を連想してしまい、混乱する人もいると思う。
新たに赴任される職員などは、「つつじが丘学園は川岸学園の分校か？」と勘違い
して職員もいるのではないか。

⇒新しい校名は、公募の方向で進めていく。先進事例を参考に、校名に込められ
た思いや公募の方法について、検討を進める。

○次回の部会での検討事項

・校名に含まれる想いや校名の募集要項等について、先進自治体の状況を複数提
示して、具体的な選定方法を決定する。

○次回の日程について

・令和7年4月25日(金) 午後6時～
川岸小学校 ふれあい教室 開催予定